

うひはたぶみ (初機踏)

H.A.M.A.木綿庵だより

第76号

2024(令和6)年5月26日

(編集発行 梅田正之 090-5042-7775)

原綿品質試験の覚え書き

— 停止、そして再開 —

一般財団法人ボーケン品質評価機構繊維事業本部より、「糸・原綿関係試験一部停止のお知らせ」が届いたのは2020年12月のことでした。そこには、HVI(原綿大量高速検品機)による試験を2021年3月末をもって終了する旨が記されていました。理由は、「依頼は年々減少し続けており」、「測定器も老朽化を迎え精度維持には高額な費用を要し試験需要とのバランスが大きく崩れ」てきていること、「このままでは試験精度を保ったデータ提供を行うことが困難」とあり、止むを得ない判断と受け止めていました。

ところが、今年になって嬉しい情報を得ることができました。ボーケンが中国山東省にある青島試験センターにおいて、HVI試験のサービスを再開しているというニュースです。ボーケンの公式サイトには、2022年5月配信の「BOKEN TOPIC No.318」において以下のように記されています。

「青島試験センターにて、綿の品質評価(HVI)の試験受付を開始しました。— 青島試験センターではHVI(綿花)の試験を扱っており、試験は提携先である青島海関にて実施しております。HVI(High Volume Instrument)とは綿花の品質を生産の現場で迅速に評価するために、世界各地で最もよく使われている検品装置で、綿花の取引に重要なグレードの確認や、紡績原料の品質管理として商取引や紡績工場などで利用されています。」

また、当該ページには註として、「日本国内ではHVI試験を行える検査機関が無い為、海外にて対応できる体制を整えました。日本語の報告書も発行しておりますので、ご要望の際は是非青島試験センターにおまかせください!」とあり、サンプル発送時の注意点として以下の通り記されています。

「試験をご依頼いただく際は、サンプルを青島試験センターまで直接ご送付ください(日本ボーケン経由での発送は行っておりません)。また、発送の際、税関通過に際して下記の書類(原産地証明書、植物検疫証明書)が必ず必要になりますのでご準備ください。」

さっそく、青島試験センターに問い合わせると日本人スタッフの方が懇切丁寧に対応してくださり、スムーズに手続きを進めることができました。今後試験の依頼を考慮しておられる方々には、まずはとにかくメールにて問い合わせされることをお勧めいたします。

以下は、今回の経験から学んだ事柄です。

- ①サンプル量は1点につき繰り綿の状態です300gが必要。
- ②料金は1枚の依頼書で1~3点まで可能、1点でも3点でも3,500円。
- ③サンプルの返送を希望する際は、依頼書提出時にその旨を付記。
返送料が加算されて請求書が届く。

④送付にあたっては国際郵便マイページサービスを利用する。必要事項を記入して宛先ラベルを印刷、貼付することが必要(手書きでは受け付けてもらえない)。一旦郵便受付窓口へ渡してからラベルの訂正は不可。たとえ一文字の書き換えでも再発行扱いとなり倍の料金がかかるので要注意! ただし、訂正ではなく文字の追加であれば例外的に認められています。今回はこの例外規定に救われました。



5月3日の綿の種まき

----- Monthly Data -----

【天理やまのべ木綿庵】(問い合わせ件数 令和6年4月26日~令和6年5月25日)

茨城県2、東京都2、神奈川県1、岐阜県1、三重県1、大阪府1、奈良県1、岡山県1、熊本県1、鹿児島県1

【H.A.M.A.木綿庵】(令和6年4月26日~令和6年5月25日)

メールを含む各種相談件数3、綿畑や作業場の見学を兼ねた事前申込済来庵者数4組7名

《綿の栽培記録 2024》－ 令和6年度版 その2－

例年通り、今年も5月3日に1回目の播種を行いました。前夜から一晩水に浸け置いた種を、10号畑の東から3本①②③の畝には和綿(赤木種)を、西側2本④⑤には洋綿(アブランド)を播きました。播種後約3週間を経過した畑では、おおむね順調に発芽、生長をはじめ、和綿、洋綿ともに本葉をだしはじめています。

今回は農薬使用をできるだけ控えたいとの思いから、例年播種時に散布する初期防虫剤オルトラン使用畝と草木灰使用畝との比較を試みました。10号畑の①～⑤畝における、5月25日(土)時点での発芽後の虫害状況は以下の通りです。1穴に3粒播き、ネキリムシやナメクジ等の虫害により1つも生き残っているものがない植え穴の数を表しています。①～③畝は株間75cmで62穴。④～⑤畝は株間100cmで45穴。

①～③は和綿(赤木種)。①には草木灰、②、③にはオルトランを散布。①17/62。②2/62。③0/62。

④～⑤は洋綿(アブランド)。④には草木灰、⑤にはオルトランを散布。④6/45。⑤0/45

上記からもやはりオルトランの効果が大きいことがよくわかります。なお、空いた穴には同時期にセルポットに播種した苗を補植しました。

写真は左から、前日より水に浸け置き準備、3点播き、発芽の様子、5月25日夕方時点の様子



《公開イベント：綿の種まき&糸紡ぎ体験 — 令和6年5月3日》

今年も、綿の種蒔き作業を公開イベントとして実施。10畑にて午前10時30分より開催。スタッフを含めて20名の方がご参加くださいました。播種作業は要領説明も含めて50分ほどで終了。その後、ひきつづいて希望される方を対象に、木綿庵特製簡易スピンドルを用いての糸紡ぎ講習を実施しました。ご参加くださいましたみなさま、ほんとうにありがとうございました。



【研修等の記録】

- 令和6年04月27日 天理市前栽こども園を訪問。園長先生に綿の種をプレゼントさせていただく。
- 令和6年05月03日 「綿の種まき&糸紡ぎ体験」(10号畑)を開催。参加者はスタッフを含めて20名。
- 令和6年05月07日 奈良県立二階堂養護学校を訪問。綿の栽培予定花壇を前に、栽培要領について具体的に説明させていただく(後日、無事に発芽のご報告をいただきました)。
- 令和6年05月15日 中西製綿工場様(天理市勾田町)にて、収穫綿花の製綿をお願いする。製綿後の重量は合計10.7kg。和綿4.3kg、洋綿4.1kg、茶綿2.3kg。単価400円/kg。作業時間約1時間。
- 令和6年05月15日 天理市商工会(天理市川原城町)を訪問。全国コットンサミット開催に向け協力依頼。
- 令和6年05月19日 「クラ福マルシェ」(奈良市秋篠町)を訪問、見学させていただく。主催：障がい者応援くらぶなないろはあと様、共催：社会福祉法人あゆみの会様。「クラ福」とはクラフトと福祉を繋げた名称。障がいのある人たちがクラフトを通して自信や生きがいを感じて欲しいという思いが込められています。
- 令和6年05月23日 天理大学附属天理図書館を訪問。全国コットンサミット天理大会における現地見学会の候補地の一つとして受け入れ可能のご返答をいただき、具体的な流れを説明。